

令和2年度 第10回 理事会議事録

日時：令和3年1月26日（火）19:00～20:30

場所：Web会議、県士会事務所

出席：(理事) 磯野、高村、三科、小林(司) 北山、名取
平賀、菊池、古屋、井村、大西、鈴木、
有泉

(部長) 入倉、小林(泰)、秋山

書記：秋山

会員管理情報

慶事0件 弔事1件 施設数135

会員数911名(施設851名 自宅60名)

I. 審議事項(全4題)

1. 令和4年度の会費について(有泉事務管理局長)

コロナ禍における士会事業縮小に伴い、協会や都道府県士会では会費の減額について検討されている。当士会においても検討が必要である。

11月の中間監査で監事からは、会費を下げてしまうと元に戻した時に、値上げという感覚になるのではないかと。会費ではなく、研修会の参加費無料によって還元していくのはどうかと話しがあった。

900人の会員で1,000円減額した場合、約90万円の会費の減収になる。

2. 令和3年度の研修会参加費の徴収について確認

(有泉事務管理局長)

審議事項1に併せて、来年度の研修会への参加費は徴収しないこととしたい。

意見

磯野：参加費を徴収しない場合の減額がいくらか。

有泉：全体の研修費用として100万円程度の収入減になる。

磯野：会費1,000円減額と同じぐらいのインパクトはある。100万円減っても士会運営が難しくなることはないと考えられるがどうか。

入倉：特段問題はないと思う。

高村：会費の減額については異論ない。ただ今後、学術誌作成のワーキンググループがあるので予算面でそこが危惧される。参加費については、オンライン研修は徴収しない。対面式の研修は徴収してもよいという考えもある。

平賀：対面式とオンラインと併せた形式(以下、「ハイブリット研修」とする。)の場合をどうするか懸念がある。

北山：ハイブリット研修でも対面の参加者は多くないので徴収しなくてよいと思う。また今年度は委員会や会議が少なかったが、回数が増えると会議費等の支出が増えることが予想されるので1年様子と動向を見て判断していったらどうか。

有泉：今季の理事の任期中はオンライン、またはハイブリット研修は参加費の徴収はしない。

結論

会費は減額しない。参加費については、オンライン研修と、とハイブリット研修は徴収しない。対面式の研修のみ徴収する。

3. ワークライフバランスに関するアンケート調査について(井村企画局長)

以前の理事会では項目数が多いということだったが、委員で検討した結果、意味のあるものにしたいという思いもあり項目数を少なくするのは困難だった。3回に分けて調査を行う形として検討した。内容はワークライフバランスと職場や仕事それと制度についてとした目的で行いたい。

意見

磯野：この調査でどれくらいの回答数がありそうか。さらに「回答結果に寄って研修を行う」のような何かとセットにした方が回答数は増えると思うがいかがか。

北山：内容等はいいと思う。ただ有効回答数が会員の半分も行かないのだと有効ではないので、この調査結果を今後につなげ、県士会員のためになるものだということが強調されるとよい。

結論

より多くの回答数の獲得及び調査結果の活用を検討し進める。

4. 公開講座に変わる折込チラシの作成について

(井村企画局長)

公開講座がコロナ禍の影響で開催できないため、リビングでできる体操や洗面台でできる体操のチラシを配布したい。そのチラシを平成31年度の公開講座の講師を依頼した小久保晴代氏と共同作成としたい。

意見

北山：県士会のHPにも載せられるようにしうまく活用してフレイルにも取り組んでいるということが県民にアピールできると思う。また、コロナ禍ということで感染予防も併せて載せられるとよいと思う。

高村：共同作成ということで、著作権やチラシ原本の保管場所は定めているか。また、謝金については段取りがとれているか。

井村：講師はボランティアで協力が得られているので謝金については問題ないが、著作権については今後確認する。

磯野：今は介護予防等の体操は世の中にたくさんあるので、今までとは違う差別化を図ったものを作成してほしい。

結論

理事の意見を参考に作成を進める。

II. 報告事項

1. 各委員会等の報告

①訪問理学療法委員会（小林副会長）

令和3年1月20日に開催された「令和2年度第1回訪問リハ・地域リーダーブロック会議」にWebで参加した。

参加者：小林司（石和温泉病院）、柴田佳介（石和温泉病院）堀内聖也（赤坂台病院）

内容：訪問リハビリステーション制度化や制度化に向けて各班の取り組みが紹介された。

②認知症サポーター養成講座の視察（小林副会長）

令和2年12月9日に北杜市で行われた認知症サポーター養成講座を視察した。来年度は、学術研修部と協力して研修会を開催する準備を進めている。

③COVID-19対策委員会（有泉事務管理局长）

来年度に委員会の名称を感染症対策委員会に変更の予定だったが、コロナ感染の状況が落ち着かないので、来年度も今年度と同じ名称とする。

④がんリハ推進委員会（小林副会長）

令和3年1月19日山梨県リハビリテーション専門職団体協議会第5回山梨県がんリハビリテーション推進委員会にWebで参加した。

内容

・2020年度がんリハビリテーション公開講座の開催について

日時：令和3年2月13日

会場：山梨リハビリテーション病院

募集期間がまだあるので周知をお願いしたい。

⑤50周年記念事業実行委員会（三科副会長）

・50周年記念事業の開催日は、令和3年10月23日（土）場所はアピオ甲府に決まった。

・表彰について、表彰の基準としては、士会員で50年経過している方を対象とし、3名が対象となっている。表彰理由は今後委員会で詰め、理事会で報告する。

・DVDと記念誌について、現在の見積もりは約80万円これに送料が追加される。

・公開講座についてはWebか対面かどちらかで開催を予定している。一般市民も参加可能とする。講師については、一つの案としては、個人的には、車いすの漫才師の方がいいと思う。この方は、途中で障害を負い、リハビリも経験しているので、そういった話しも聞けると思う。

・祝賀会については、コロナ禍ということもあり開催は難しいと感じている。

意見

北山：協会からは学術関係や学会の人が集まるものに関しては全部リモート行う形だと決められている。できれば一般市民も入るイベントであればWebのほうがよいのではないかと。

磯野：講師について車いすの方はよいと思います。講師の人選について、一般市民向けの内容も含めた人選をお願いしたい。

結論

4月の理事会には、Web開催にするのか最終的に決定させていきたい。講師に関しては今後も検討し、理事会で報告する。

2. 部・局の報告

①第2、3回新人教育研修会の開催について

（北山生涯学習局长）

第2回新人教育研修会 Web開催

A-1「理学療法と倫理」 日時：12月21日（月）

講師：有泉静佳先生（あけぼの医療福祉センター） 参加人数：26名

B-4「症例報告・発表の仕方」 日時：12月24日（木）

講師：玉木徹先生（健康科学大学）

参加人数：18名

第3回新人教育研修会 Web開催

E-3「国際社会と理学療法」 日時：1月12日（火）

講師：渡辺長先生（帝京科学大学）

参加人数：19名

平均20名程度の参加者がある。山梨県士会であれば無料で講習を受けられるので今後も広報をしていきたい。

②協会指定管理者研修会について（北山生涯学習局长）

1月21日に協会指定管理者研修会をWebで行い22名の参加があった。

③スポーツ理学療法運営担当者会議（古屋社会局长）

運営担当者会議では、今後のスポーツ理学療法の関わり方、幼児・学童・青年・中高年ごとに分けての取り組みや2030年に向けての話し合いが行われた。

ブラッシュアップ研修ではオリパラに向けた「英会話・救急対応・テーピング・パラアスリートへの関わり」についてWebで研修会を行った。

④医療・介護報酬に関する基礎的研修会開催について

（鈴木福祉厚生局长）

令和3年2月18日（木）に医療・介護報酬に関する基礎的研修会をWebで開催する。

III. 事務管理局から

①事務員の雇用について

・財務部付きの事務員を1人雇用する予定であるので了承をお願いする。

・来年度の予算書について提出が1月31日までとなっているので期限までに提出をお願いする。

・事務所の耐震工事が始まる。期間は1月25日から7月10日までになる。

・今後の日程

1月～次年度予算書

3月会計締め、決算報告 年度末監査資料作成
4月理事会で年度末監査資料承認
5月初中旬 年度末監査
5月理事会にて 監査報告等
6月初中旬 総会 を ZOOM で開催予定。
委任状は出席に関わらず提出をお願いする。

IV. 次回の理事会日程について

日時 令和3年2月24日(水) 19:00～

場所 Web会議

連絡 2月19日(金)までに審議事項および資料を
事務管理局(有泉理事)へ提出する。

議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。